

進路だより

2020年6月 5日 No.7

引き続き、質問に答えていきたいと思えます。

Q、今年の長期の休業で、3年生の範囲を終えることができるのか？

43期生の皆さんは、昨年度の3月・今年度の4月・5月と3か月にわたって休校が続き、ただでさえ不安な「受験生」としての始まりを、不安いっぱいの中でスタートしていることだと思います。今後の「コロナ状況」が見通せず、また、現在のところ夏季休業や冬季休業の短縮期間などが決定していないなど、未確定な点が多いのも事実です。そんな中で、中学校としては、今できること、すなわち一時間一時間の授業を大切に、本来の3年生の授業範囲を少しでも進めるべく取り組んでいます。皆さんも、目の前の毎日の授業にしっかり取り組んでほしいと思えます。

また、例年の中学校側の取り組みとして、2月に行われる「私立入試」の出題範囲は、「おおむね中3の2学期終了時点まで」という申し入れを私立高校側に行い、配慮をいただいています。とりわけ今年は、そのような「入試出題範囲」についての配慮をいただくことが重要であると考えます。「入試出題範囲」についての情報も、決まりましたら各教科担任を通して連絡させていただきたいと思えます。

Q、1学期の成績はどうやって決めていくのか？

「進路だよりNo.5」で書きましたが、現在のところ、1学期の期末テストを7月に実施する予定にしています。また、夏季休業開始が遅れることが予想されるため、1学期はおおむね8週間前後の授業が行われることが予想されます。定期テストや毎日の授業の中での評価材料によって、1学期の成績（評定）を決定していくこととなります。

Q、実力テストは実施されますか？

確定した日程を知らせることができなくて申し訳ありませんが、現在のところ、第1回実力テスト（国・社・数・理・英）を6月下旬に実施する予定です。実力テストの目的は何でしょうか。

高校入試は、中学校で学んだ内容を総合的にみるテストです。今までの定期テストと違って、出題範囲は「中学校で1年生から3年生までに学習した範囲」です。範囲がすごく広いのです。そのような「範囲の広いテスト」に慣れることが当面の目的です。「範囲が広すぎて、どうやって勉強したらいいか、わからない。」ということで、何も勉強せずにテスト当日を迎えてしまう人がいますが、それは大きな間違いです。目標は「入試」だと思ってください。毎日の「努力」の積み重ねの先にしか、入試を乗り越える道は開けません。では、どうやって準備をするのか、どうやって1・2年の復習をするのか、たとえば、「1・2年の定期テストをやる」のはどうでしょうか。また、例年なら夏休みの宿題となることの多い「3年間の復習問題集（休校期間の宿題になっていた教科も多かったと思います）」が皆さんの手元にすでにわたっている教科もあると思います。もう一度取り組んでみませんか。例年の3年生よりは、皆さんのほうが1・2年の復習については休校期間に進んでいるような……。期待しています。

Q、今後の入試日程は？入試の形式は？

こちら「進路だよりNo.5」でも少し書きましたが、今後の「コロナ状況」にもよりますが、現在のところの予定は、2月10日～私立入試、2月18日～公立特別入試、3月10日～公立一般入試の日程で変更はありません。したがって、11月の進路懇談において私立高校受験校を数校に絞り、12月の期末懇談で私立高校受験校を決定、公立特別入試受験の有無を決定、2月下旬の進路懇談で公立一般入試受験校を決定というスケジュールも、変わりありません。入試の形式も、今のところ変更するという連絡はありません。ただし、これも前述しましたが、入試に使用される「3年生の5教科（国・社・数・理・英）の5段階評定」に大きくかわる、3年生チャレンジテストが中止となったために、どのようにして「5段階評定の基準を作成していくか」については、現在のところ未定です。そのことも含めて、今後、大阪府教育委員会から新しい情報が発表されましたら、「進路だより」などを通じて連絡させていただきます。また、保護者の方向けの「進路説明会」も日程が決まり次第、連絡させていただきます。

今すべきこと⇒6時間授業のリズムに慣れること。

⇒1・2年の範囲の復習を少しずつ。